



学生相談室だより 夏休み号

「青年期とは・・・？大人になるってどういうこと？」

Vol.140 2024年8月

帝塚山大学学生相談室

東生駒キャンパス 3号館2階

学園前キャンパス 16号館9階

こんにちは。暑い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか？
学期末のテストや課題が終わればいよいよ夏休みですね。計画を立てている方も、特に立てていない方もいらっしゃるかと思います。まずは前期の疲れを癒すところから、始めてみてはいかがでしょうか。

さて、今月の学生相談室だよりでは、青年期の心理的自立について触れたいと思います。
青年期とは、もう子どもではないけれど、まだ大人でもない、子どもと大人の間状態であり移行期であると言われています。一体何になって生きていったらいいか、どのような役割を世界で果たしていったらいいかを、大いに迷う時期であり、迷うと同時に、自分の能力を過信してもいて、自分は何か偉大なことができるような錯覚を持っている。しかしだんだん現実が見えるようになってきて、自分の能力の限界というのが分かってきて、一度失意、失望に落ち込み、そしてより現実性のある目標を見出すようになる。このように、迷い、錯覚し、現実に目覚めて失望に落ち込む、これを繰り返していくと言われています。(霜山徳爾監修 鍋田恭孝編 1998 『母と子・思春期・家族—子どもの心を理解するために—』 金剛出版)

ここからは、そのような青年期の心性が表現されているシンガーソングライター あいみょんさんの「19歳になりたくない」という曲の歌詞の一部をご紹介します。ご自身の心の中と照らし合わせながら、味わってみてください。



現実逃避を 繰り返す日々は
思えば楽だった 最高の友達でした

18の今思うことが一つ
何故人は減る命に祝いを捧げるの
強くはなりたい でも弱くもありたい
私のままでいたい

18の今言えることは一つ
あの日の記憶は消えますか
手に取れる物 それは全て欲しい
けど 今で十分な気がする

思い出せないもの どこかに忘れてしまった宝物
一度握った手も 知らぬ間に離れてしまったんだ

大人になるたびに
見たくないものを見ては 泣いちゃうし
本当の自分に気づくことは少し怖いんだ

大人になるたびに
見たくないものを見ては 泣いちゃうし
本当の自分に気づくことは少し怖いんだ



いかがでしたか？

皆さんの心の中に浮かんできたものを誰かに話してみたい、整理したい等と思われた方は、学生相談室を覗いてみてください。

帝塚山大学学生相談室 対面相談・電話相談

開室時間：平日 9:00～17:00

<文学部 経済経営学部 法学部>

東生駒キャンパス Tel. 0742-48-9286

<心理学部 現代生活学部 教育学部>

学園前キャンパス Tel. 0742-41-4860